

# 事業所における自己評価結果(公表)

公表日：2019年3月30日

こども発達支援 ハート&ハート

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			
	②	職員の配置数は適切であるか	100%			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	100%			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか	100%			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表を実施すると共に、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページなどで公開しているか	100%			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を事業改善につなげているか			100%	第三者による外部評価は行っていませんが、検討中です。
	⑨	職員の資質の向上を行う為に、研修の機会を確保しているか	100%			
適切な支援の提要	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	100%			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	100%			

適切な支援の提要	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われている支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか			100%	職員の退勤時間が異なるため、翌朝のミーティングの際に前日の確認と情報共有を行っています。退勤時に各自報告の徹底を行っています。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもを重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育などの関係機関と連携した支援を行っているか	100%			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもを重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	100%			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			100%	現在、対象児がいないので行っていません。しかし、対象児がいる場合には、各機関と連携を図っていきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学校部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			100%	現在、対象児がいないので行っていません。しかし、対象児がいる場合には、各機関と連携を図っていきます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100%	交流する機会は少ないので、地域で交流できるよう検討中です。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100%			
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			100%	職員がペアレント・トレーニング等の研修を受け、対応していけるようにしたいと思います。
	保護者への説明責任等	㉜	運営規定、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	100%		
㉝		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援の内容と、これに基づき作成された「発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から自動発達支援計画の同意を得ているか	100%			
㉞		定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			
㉟		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100%	保護者同士のつながりを持つ機会はなかなかないので、検討中です。
㊱		子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			

保護者への説明責任等	③⑦	定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもたちや保護者に対して発信しているか	100%			
	③⑧	個人情報に十分注意しているか	100%			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100%	まだそのようなことは行っていないため、検討中です。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%			
	④②	非常時災害の発生に備え、定期的に避難、救出、そのほか必要な訓練を行っているか	100%			
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			100%	基本的に保護者の方を通じて情報を共有して、対応しています。今後は、医師の指示書をいただくように徹底していきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有しているか	100%			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応がされているか	100%			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか	100%			

## 工夫している点

- 保護者の方に、子どもたちの様子が分かりやすいように、連絡帳の記入や口頭での説明を丁寧に行っています。また、ホームページを通して、日頃の活動内容を発信しています。
- 個別支援計画は、保護者の方と面談を行い、ご意見やご要望を十分にくみ取った上で、日頃のお子様のご様子、方向性を考えながら作成しています。
- 療育活動は、1人1人の成長段階に合わせた内容を手厚く行っています。
- 児童クラブや児童館、障がいのない子どもたちとの活動については、公園（外遊び）、お買い物外出、社会科見学、地域のお祭りへの参加などを通して、たくさんの方たち（子どもを含む）に関わることができるようにしています。
- 保護者の方からのご相談や苦情については、すぐに伝えていただけるように“見える関係づくり”に力を入れています。
- 子どもや保護者の方との意思の疎通や情報伝達の配慮については、電話や連絡帳、送迎時の時間帯に行っていますが、ご面談を通して行うこともあります。
- 「緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知説明・されているか」については、保護者の方々に周知していただけるよう発信していきたいと思えます。
- 「非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、そのほか必要な訓練が行われているか」については、ハザードマップや緊急時の連絡先、手順を再確認し、周知していただけるよう発信していきたいと思えます。